

# 新南陽地区地域審議会 会議次第

平成18年9月21日(木)

9時30分～

新南陽庁舎 4階41会議室

- 1 開 会
- 2 市民憲章唱和
- 3 総合支所長あいさつ
- 4 会長あいさつ
- 5 議 題
  - ・市長に対する意見具申について
- 6 閉 会

## 周南市民憲章

わたくしたちは 自然と産業が調和した周南市を愛し  
ともに輝きながら 心豊に暮らせるまちをめざし  
次のことを誓います

- 1 自然を大切にし 水と緑の美しいまちをつくります
- 1 みんなで助け合い 安心して暮らせるまちをつくります
- 1 元気に働き 豊で活力のあるまちをつくります
- 1 スポーツに親しみ 健康で明るいまちをつくります
- 1 教養を深め 自らが輝き 世界に誇れるまちをつくります

平成18年9月 日

周南市長 河村和登 様

新南陽地区地域審議会

会長 菊地 光雄

### 意見具申について

新南陽地区地域審議会では、周南市新南陽地区に関わる事業について審議をいたしました。

徳山市、新南陽市、熊毛郡熊毛町及び都濃郡鹿野町の廃置分合に伴う地域審議会の設置に関する協議書第3条第2項により、当審議会として、以下の9項目について意見具申をいたします。

### 記

1. 学び・交流プラザ整備事業の計画策定の推進について  
－地域の社会資本の有効活用と市民参画による計画策定を－
2. 福川駅前周辺整備事業の早期着手について  
－福川の表玄関にふさわしい駅前広場の整備を－
3. 学校図書館司書の計画的配置について  
－モデル校の指定とデータベースの構築を－
4. 歴史的意義ある「伝承・継承活動」の見直し推進について  
－文化財の保全、保護へのシステムの構築を－
5. 和田地区における医療体制の継続について  
－診療、通院に安心できる医療体制を－
6. 花いっぱい運動の新たな展開について  
－テーマを掲げ市内一斉の運動を－
7. 遊休市有地等の有効活用と処分について  
－処分計画の公表と事業効果の早期発揮を－
8. 防災・防犯・安心安全の市民生活対策について  
－事前、事後の対策と整備指針の明確化を－
9. 都市計画道路の計画的整備について  
－地域の発展と安心・安全のまちづくりを－



## 1. 学び・交流プラザ整備事業の計画策定の推進について

学び・交流プラザ整備事業は、新市建設計画にリーディング・プロジェクト事業として掲げ、合併時における新南陽地区の最大のプロジェクト事業であり、周南市の生涯学習の拠点として整備するものと位置づけられています。

建設が予定されている場所は、現在、公民館、体育館、武道館、勤労青少年ホーム、図書館が配備され、市民の総合的な生涯学習の場となっています。

これらの建物は昭和40年代前半に建設されているため老朽化し、雨漏りや外壁の劣化に加え各館が分散し、高度情報化社会への対応ができない利用状況にあります。

また、車社会に対応した便利な駐車スペースもなく、来訪者の路上駐車による交通安全上の問題も引き起こしています。

このため、周南市の均衡ある総合施設の適正配置のうえからも、施設を整理し、新市建設計画に沿った学び・交流プラザの整備が急がれます。

整備にあたっては、永源山公園や市民病院、保健センターなど、この地域一帯が持つ社会資本を有効に活かしていただくことはもちろん、市が誇る永源山公園の南エントランスとの連携をより密にした、「高度生活ゾーン」のモデル的総合施設として整備できる、社会資本の活用を検討いただくよう要望します。

また、施設の整備計画にあたっては、市民が生涯現役をめざせる、生活支援機能、学習支援機能を備えた効率の良い拠点施設となるよう、早急に着手されることを提言します。その際、市民参画による計画策定に向けた委員会の設置を要望します。

## 2. 福川駅前周辺整備事業の早期着手について

福川駅周辺は、地域の表玄関口として位置づけられ、通学・通勤をはじめ、多くの利用があり、また新南陽ふれあいセンターとも隣接し、開発旺盛な南側地区とも結節しているため、交通利便性からも利用頻度は顕著です。

しかしながら、駅前周辺の整備は立ち遅れており、「整然、清潔、明るい、安心」等の要件を満たしているとは言えず、好ましい環境にないのが実情です。

特に駅の無人化以降、利用者の安心安全上の問題を抱えるなか、放火事件も発生し、風紀が一段と悪化している状況です。

駐輪場の整備に加えて、福川駅舎や駅周辺一帯を整備し、駅の利便性を向上させることは、地域の人々のふれあいの拠点としても寄与出来る環境条件が具備されると同時に、福川地域全体の活性化にも繋がることです。

整備にあたっては、新南陽ふれあいセンターとのアクセスの強化も含め、福川地区の表玄関口としてふさわしい、明るい活気のある駅前周辺が整備されることを要望します。

## 記

- (1) 駐輪場の整備と送迎利用車への駐車スペースを確保する。
- (2) 交番を駅前広場へ移設する(現状の交番の位置は不便)。
- (3) 広場をポケットパーク化する。
- (4) 南北連絡通路の結節強化に向けた環境を整備する。
- (5) 「県道下松新南陽線」と「駅前広場」とのアクセスを整備する(危険交差点の改修)。

### 3. 学校図書館司書の計画的配置について

小・中学校の学校図書館への司書の配置につきましては、当審議会が平成16年に行った意見具申に対し、積極的に対応していただき、すでに各校週2回の巡回方式により実施されております。子どもたちの情操教育の観点から、非常に意義のあることであり、市の積極的な姿勢に対し敬意を表します。

しかしながら、児童や少年を巻き込んだ犯罪などは相変わらず増加しています。本に親しみ、豊かな感受性や想像力を持った子どもたちを育てていくことは、これまで以上に求められています。

心身ともに成長する小・中学生の時期には、心の栄養士的な相談相手が必要であり、カウンセラー的役割を果たす学校図書館司書は、本を通して心の相談コーナーの役割も担い、また児童、生徒にとっては“心の癒しの場”でもあります。

そのためにも、さらに学校図書館を充実させ、情操教育の環境を整備していただきたい。具体的には、現在行なわれている施策に加えて、次のような施策を実施されるよう要望します。

## 記

- (1) 数校のモデル校を指定し、市立図書館と学校図書館をオンラインで結ぶデータベースを構築し、図書の利用増進を図る。
- (2) モデル校には、司書資格を有する専任の司書を配置し、学校図書の運営、活用方法やデータベース化の研究を行なう。

### 4. 歴史的意義ある「伝承・継承活動」の見直し推進について

新規の各種イベントは、地域の活性化や交流促進のために意義のあることであり、引き続き振興発展させていく必要があります。

一方、歴史的に意義ある文化財について、保全、保護の視点から、「市文化財等

保全指定制度」の見直しを行い、保全、保護の拡充に向けた取り組みを、真剣に考えていく必要があると考えています。

そして、新南陽地区に散見する「歴史上の人物」・「文化伝承芸能」・「遺跡」・「歴史・文学等」を有形、無形文化財として指定し、市民や来訪者の目に映るための標識、案内板、モニュメント、記念碑などを設置するよう要望します。

興味や関心を喚起することにより、児童、生徒等の子供たちへの歴史教育や、市民意識の醸成を図ることが主なねらいです。

(例示) 新南陽地区においては、

教育・文化： 岩崎民平、青木健作、井本農一、中山三屋、島地黙雷、香川葆晃

政治・産業： 福田民平、道源権治

その他： お咲き、山崎隊、盆踊り

## 5. 和田地区における医療体制の継続について

和田地区は高齢化が進み、多くの人々が医療機関を利用しています。

地域には長沼医院があるものの、先生も高齢となり、いつまで診ていただけるものかと住民は憂慮しています。

また、南部の市民病院等へ自家用車で通院できる人も、高齢化で年々減少してきており、さらには公共交通機関の不便さも手伝って、多くの住民が不便をしいられています。

和田地区の地域医療については、市民病院や専門医の診療が受けられるような「(仮称)生活健康バス」等を運行するなど、地域住民が安心できる対策を要望します。

また、市内の各公共施設にAEDが配置されていますが、この機器は、一刻を争う緊急時に、必要不可欠なものです。

医療機関から遠く離れた、市の周辺部への設置こそが、望ましい救急の姿であり、和田地区に直ちに、配備していただくことを要望します。

## 6. 花いっぱい運動の新たな展開について

花いっぱい運動の展開については、合併以降大幅に衰退し、花壇の数も減少しています。

花いっぱい運動は、それぞれの地域に馴染んできた経緯と手法があり、それぞれの仕組みを維持しながらも漸次改善していくことが必要です。

特に、「花を育てる」ということは、花の生育だけが目的ではなく、「環境美化」そして「地域のコミュニティ」や「地域のなごみ」、さらには「奉仕の心づくり」等、社会的に

意義のある活動です。

「テーマ」を掲げ、市民運動の柱として盛り上げ、継続して取り組むことは、花いっぱい運動を促進し、美しい環境づくりの発展につながるものと確信しています。

5年後の2011年に開催される「山口国民体育大会」は、その意味ではスローガンに相応しい“テーマとなり得るイベント”であると考えます。

周南市全体を花でいっぱい飾り、「おもてなしの国体」として山口国体を成功させ、この運動が継続できるよう、種苗、肥料、用具等の支援施策を講じていただくよう要望します。

## 7. 遊休市有地等の有効活用と処分について

市財政は、三位一体の改革や、地方交付金制度の改革などにより、さらに厳しい運営状況となっているものと察します。

このような財政状況の下では、現行、市が保有している公共用地について、徹底的に再精査、再点検するとともに、遊休不要な土地は、処分を前提にした見直しを図られることが緊急の施策です。

中でも市内に散見する「職員住宅用地」、「老朽空き家市営住宅」など、計画の目的の立たない遊休不要資産についても、早期の民間活用の導入も視野に入れた処分計画を公表することが必要です。

特に当時、市の要請により取得した、市土地開発公社の保有する「政所駐車場用地」、「米光企業団地」や「長田町の公共用地」などの用地は、市において早急に具体的な買い戻し計画を立てられ、事業効果を早期に発揮されるよう要望します。

このことは、市並びに市土地開発公社の財政の健全化に、寄与するものと考えています。

## 8. 防災・防犯・安心安全の市民生活対策について

地球温暖化も影響して、近年、集中豪雨や超大型台風などの自然災害に見舞われることが多く、地球上の各地で想像を絶する被害が起きています。

市内の各所においても、これまでにはなかったような災害が発生しており、「安全で安心なまちづくり」は、人命や財産に直接関係することから、市民にとって最大の関心事です。

新南陽地域においても、自治会を中心にした自主防災組織づくりが進められている箇所もありますが、まだまだ一部であり、予想される危険箇所、避難経路、災害時の対策などについては不十分で、市民は大変な不安を抱いています。

危険のない住みよい地域社会実現のために、下記のことについて要望します。



## 記

- (1) 県が作成し、該当地域に配布された「土砂災害危険箇所マップ」について、これに基づく点検だけに止まらず、土砂崩壊地域への具体的整備指針を明確にする。  
併せて、例えば辰尾公園西側地区などの、危険箇所の避難道確保について、早急に整備する。
- (2) 継続中の県事業夜市川河川改修に併せ、富田川の右岸河川改修も進める。
- (3) 市内随所にある小河川、水路などの日常的な安全対策は急務であり、溢水している箇所は、緊急的改修が必要である。
- (4) 「地域の安全活動」や「見守り活動の推進」、「通学路の安全点検」、「集落間の防犯灯設置」、さらには高齢者用の「安全な歩道幅員の確保や整備強化」など、危険のない明るく住みよい地域社会の実現に努める。
- (5) 公共施設における高齢者、障害者へのバリアフリーの点検と施設の改修を早急を実施する。例えば、新南陽公民館、和田公民館、新南陽体育館などへの車椅子用トイレを早急に整備する。

## 9. 都市計画道路の計画的整備について

生活の利便性の向上、産業の振興、災害時の避難路、緊急自動車の通行等、計画性のある道路は、市民が安心して暮らすために大変重要な役割を果たしています。

しかし、新南陽地域においては、近年民間による宅地開発が数多く行なわれているものの、地区内の道路は狭隘なものが多く、消防車や救急車の通行が出来ない箇所もあります。

活力ある地域の発展や交流の促進のためにも、社会基盤である道路網の整備は大変重要なことであり、児童や生徒、さらには高齢者や障害者が安心して通行できる道の確保は、安心安全な暮らしの上からも大切なことと認識しています。

とりわけ都市計画道路は、将来の市の発展のためにも大変重要な道路であり、従前どおり3路線を年次的、計画的に整備されることを要望します。

## 記

### (1) 都市計画道路中開作線の整備

福川南小学校区は、近年、民間による小規模な宅地開発が数多く行なわれていますが、地区内の市道は狭隘で、消防車や救急車が通れないという所もあります。

また、児童・生徒の通学路は、毎日の通勤車両により危険にさらされる状況に加え、一部通学路では大雨時に冠水し、児童・生徒が危険にさらされることもたびたびです。

よって、地域の生活改善に最も重要な公共下水道事業中開作雨水幹線の整備、及び都市計画道路中開作線の早急なる整備を要望するとともに、児童、生徒の安全通行のためにも、早急なる水路の整備を要望します。

## (2) 都市計画道路中溝線の整備

新南陽地区は、東西のアクセスは、国道・県道により充実していますが、南北のアクセスが非常に脆弱です。新南陽地域の発展のためにも、富田西部土地区画整理事業とともに中溝線の整備を進め、南北幹線道の充実に向けた取り組みを要望します。

## (3) 都市計画道路川崎平野線の延長整備

県道に連絡する区間(310m)については整備され、宅地開発が進んでいます。この事業を継続して整備することにより、川崎・明石地区の狭隘な道路が改善されるとともに、地域の活性化に大きく寄与するものと考えます。